

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援センターおーろぶ		2026年 3月 30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		特別なものを用意するのではなく、その場にあるものを工夫して使用している。	基本的に施設のものを学校等に持ち込むことはない。行き先にあるものを利用して対応している。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			特に問題はない。	
業務 改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			特に問題はない。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			特に問題はない。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			特に問題はない。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		法人として、第三者評価は前向きに検討している。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			特に問題はない。	
適切 な 支 援 の 提 供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			特に問題はない。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			特に問題はない。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		観察前後の情報共有、面談、メール等で対象児の見立て、できるようになっていること等を収集し個別支援計画へ反映させている。	特に問題はない。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			特に問題はない。	
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		教職員、親御さんによる評価だけでなく、学習活動時の観察で状況を把握している。	特に問題はない。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			特に問題はない。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			特に問題はない。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			特に問題はない。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			特に問題はない。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			特に問題はない。	
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			特に問題はない。		
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			特に問題はない。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			特に問題はない。		

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			特に問題はない。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		今年度小学校から中学校へ進学する生徒が3名おり、担会や資料提出で情報共有を行なった。	特に問題はない。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			特に問題はない。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			特に問題はない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			特に問題はない。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談時にご家族へ個別に対象児の行動傾向やその時々に関わり方、接し方、学習方法を伝える。	法人としてペアレント・トレーニングを随時開催しているため、必要な保護者には提供が可能な体制がある。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			特に問題はない。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			特に問題はない。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			特に問題はない。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談、メール、ラインを活用し適宜行なっている。	特に問題はない。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			特に問題はない。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		個人宅に訪問しているため、個人情報の観点からも他の利用者との共有はしていない。きょうだい児については訪問先で関わることが多い。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			特に問題はない。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		訪問支援なので特に通信等の波高はしていない。こども発達支援センターおりーぶ（児童発達）の取組みはお便りを発行している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			特に問題はない。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			特に問題はない。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		観察前後のタイミングで情報共有を行い、必要があれば学校等で教員と面談を行なっている。	特に問題はない。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			特に問題はない。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		観察内容や対応方法、教職員との情報共有事項を記録表に入力し、面談での記録表のコピーをご家庭に渡し、口頭で状況説明、家族の意向を確認している。	特に問題はない。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			特に問題はない。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			特に問題はない。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		基本的には訪問先のルールに従って行動している。訪問先で避難訓練に立ち会うこともあり、行動を共にしている。	特に問題はない。

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		学校の方針に合わせている。	学校等の指定された空間で実践しているため、安全であることが前提である。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			特に問題はない。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			特に問題はない。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			特に問題はない。